

活動写真

1. 事業開始式



岸野大使ご出席のもとUXO Laoティツパソン長官とJMAS事業統括責任者とのMOU調印式



訓練センター建替え工事開始鍬入れ式



日本からの不発弾処理支援に期待を表明するブンファン首相府大臣



岸野大使、ブンファン首相府大臣、その他関係者に対して事業説明を行うJMAS事業統括責任者

2. 不発弾処理技術移譲

(1) 訓練センターにおける学科教育

【訓練センター教官及びSEODに対する集合教育】

実施期間: 1回目(3月2日～6日)



砲弾・爆弾用信管の種類・構造機能について教育を行うJMAS専門家



熱心に事業を聴講する訓練センター教官とSEOD



はじめて電気のこぎり(ローターバンドソー)による爆弾カットを見る訓練センター教官とSEOD



電気のこぎり(ローターバンドソー)を使用して爆弾カットの練習を行うSEOD



電気のこぎり(ローターバンドソー)を使用して爆弾カットの練習を行う訓練センター教官



電気のこぎり(レシプロソー)を使用して爆弾カットの練習を行うSEOD

実施期間:2回目(4月20日~24日)



のこぎりカット法に使用する器材について説明を行うJMAS専門家



事例研究問題の筆記試験を受けるSEOD



実習前に使用する器材説明を行うJMAS専門家



電気のこぎり(ローターバンドソー)の使用方法についてJMAS専門家から説明を受けるSEOD



電気のこぎり(ローターバンドソー)を使用して爆弾カットの練習を行うSEOD



ホイスト、三脚ヘッド、アルクレーンの使用方法についてJMAS専門家から説明を受けるSEOD

【TL】

実施期間:1回目(3月16日~20日)



教育前に工具の確認を行うチームリーダー



砲弾・爆弾用信管の種類・構造機能について教育を行うJMAS専門家



JMAS専門家の指導を受け電気のかぎり(ローターバンドソー)での爆弾カットを練習するチームリーダー



電気のかぎり(ローターバンドソー)を使用して爆弾カットの練習を行うチームリーダー



電気のかぎり(レシプロソー)を使用して爆弾カットの練習を行うチームリーダー



2人1組になって金鋸(80cm)での爆弾カットの練習を行うチームリーダー

(2)OJT

実施期間:1回目(UXO Laoセーコン県支部/3月25日~3月27日)



UXO Laoセーコン支部でのOJT
実施における業務調整



JMAS専門家の指導を受けの
こぎりカット法の準備開始



のこぎりカット法により処理を
行う信管付500ポンド爆弾



信管付爆弾の爆弾カットを行う
SEOD



信管付爆弾の爆弾カットを行
う訓練センター教官



カット中の安全点検を行うJMAS
専門家



切断された爆弾断面



カット終了後の焼却処分準備



土嚢を積んで焼却開始



焼却処分後の爆弾



新たに発見された爆弾の識別
協力依頼をうけ調査中のJMAS
専門家



識別の結果M103弾頭信管付
旧型500ポンド爆弾と判明

実施期間:2回目(UXO Laoアッタプー県支部/3月30日~4月1日)



作業開始前の安全確認を行うJMAS専門家



信管付爆弾の爆弾カット



切込位置の確認



カット終了後の焼却処分準備
①



カット終了後の焼却処分準備
②



焼却処分後の爆弾



不発弾処理現場で木材を利用しホイスト、アルクレーンの実習訓練。安全化された500ポンド爆弾を使用。

2. 訓練センター建替え (1) 教場の施工状況



整地された教場建設地



基礎の作成が終わり地中梁、柱の作成開始



地中梁の作成



柱の作成



柱と壁の作成



建築会社と現場確認を行うJMAS建築専門家



床レベルの確認を行うJMAS建築専門家



建築会社に対して図面を用いて施工方法の確認、指導を行うJMAS建築専門家



梁鉄筋及び柱鉄筋のかぶり厚さを確認するJMAS建築専門家補佐と作業員



柱上部から鉄筋のかぶり厚さを確認するJMAS建築専門家補佐



柱にコンクリートを流し込むための木枠設置



柱完成後に壁、「まぐさ」などの施工開始

基礎、地中梁、柱等にコンクリートを流す前には、全て木枠の中の鉄筋についてかぶり厚さ※の確認を実施 ※「かぶり厚さ」とは、鉄筋の表面から木枠端までの距離のことで、鉄筋のさびを防ぐためのコンクリートの厚さ。コンクリートを打つ場所によりかぶり厚さは変わります。

(2)トイレ・シャワー室の施工状況



基礎穴



柱鉄筋



基礎鉄筋



整地されたトイレ・シャワー室建設地

3月6日



基礎穴掘り作業

3月12日



地中梁、地中梁下レンガ基礎作成

3月18日



床スラブは、JMAS建築専門家が盛土の突き固めを確認し、ポリエチレンフィルム設置後、施工を実施

4月10日



柱の完成

4月21日



建物内側からの様子

4月29日



排水管の設置を行い床スラブの作成

壁、「まぐさ」の施工開始

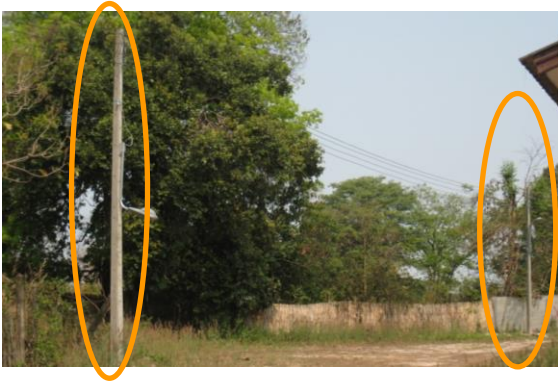


基礎穴の中で基礎鉄筋の確認を行うJMAS建築専門家補佐



設計図面と施工状況を確認するJMAS建築専門家補佐

(3) 電気設備の施工状況



新設した電柱



新設したトランスフォーマー



電気メーターの確認を行うJMAS建築専門家

(4) 排水設備の施工状況



蓋の鉄筋と木枠



コンクリートの流し込み



空気穴の作成



乾燥前の排水溝蓋



一つずつ丁寧にコンクリートを流し込む作業員



排水溝蓋の完成



排水溝の溝堀



排水溝の傾斜確認を行う建築専門家補佐



排水溝に基礎鉄筋とスペーサーを設置



コンクリートを流す前の確認を行うJMAS建築専門家



排水溝の完成



排水溝蓋の設置